

第 38 回市民総合スポーツ大会
第 40 回 福岡市女子剣道交流大会

と き 令和 6 年 4 月 1 4 日 (日)

【午前の部】 8 時 3 0 分 開会式

【午後の部】 1 2 時 3 0 分 開始式

ところ 福岡市総合体育館 (福岡市東区香椎照葉)

主 催 福 岡 市

(公益財団法人) 福岡市スポーツ協会

主 管 市民総合スポーツ大会実行委員会

福 岡 市 剣 道 連 盟

後 援 (公益社団法人) 福岡県剣道連盟

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとるとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
財団法人全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
財団法人全日本剣道連盟

第 40 回 福岡市女子剣道交流大会

(兼 令和 6 年度 全国健康福祉祭 剣道交流大会 予選会)

大 会 式 次 第

【午前の部】開 会 式

1. 開 会 の こ と ば
2. 会 長 あ い さ つ
3. 試 合 上 の 注 意
4. 選 手 宣 誓
5. 運 営 上 の 諸 注 意
6. 試 合

閉 会 式

1. 閉 会 の こ と ば

【午後の部】開 始 式

1. 開 始 の こ と ば
2. 会 長 あ い さ つ
3. 試 合 上 の 注 意
4. 選 手 宣 誓
5. 運 営 上 の 諸 注 意
6. 試 合

閉 会 式

1. 閉 会 の こ と ば

大 会 役 員

大会名誉会長	福岡市長	高島宗一郎
大会会長	福岡市剣道連盟会長	牧瀬憲保
大会副会長	福岡市東区剣道連盟会長	石橋正久
	福岡市西区剣道連盟会長	富永計久
	福岡市早良区剣道連盟会長	花田利夫
	福岡市城南区剣道連盟会長	大和竹史
	福岡市南区剣道連盟会長	井上和義
	福岡市中央区剣道連盟会長	佐々木健一
	福岡市博多区剣道連盟会長	鬼塚昌宏
大会名誉顧問	(公益財団法人)福岡市スポーツ協会会長	藤井一郎
大会顧問	(公益社団法人)福岡県剣道連盟会長	青柳俊彦
	(公益社団法人)福岡県剣道連盟副会長	宮川英俊
	福岡連合地区剣道連盟会長	原博生
	(公益財団法人)福岡市スポーツ協会専務理事	原田清子

大 会 委 員

大会委員長	福岡市剣道連盟理事長	國友秀三
大会委員	森田茂	村田昇平
	親川光紀	深見心治
	田中健一	
総務委員長	湯口博史	
総務委員	村方章	河原亮輔
	小林長充	青木幸孝
	石井豊勝	
本部委員	谷口浩司	
記録係	石井豊勝	
表彰係	石橋俊男	
接待係	浦川忍	渡部紀子
救護係	中村潤子	齋藤あかね

(順不同)

審 判 員

審 判 長 安 部 堅

【第1試合場】	【第2試合場】	【第3試合場】	【第4試合場】
小林 真 二	窪 山 浩 二	神 田 真奈美	梅 津 裕一郎
家 永 雄一郎	末 松 稔	濱 地 信 彦	下 川 和 秀
吉 田 武 史	藤 井 信 吾	山 崎 大 輔	永 見 賢太郎
岩 男 真 吾	今 泉 佑 太	高 塚 修 治	鈴 木 颯 太
在 津 吾 朗	古 田 拓 也	小 金 丸 卓 哉	松 本 大 吾
須 佐 健 吾	関 一 彰	本 田 哲 也	川 内 義 文
相 良 博 喜	池 田 直 矢	間 杉 一 磨	山 根 宏 文
【第5試合場】	【第6試合場】	【第7試合場】	【第8試合場】
高井田 誠	森 山 和 博	上 田 啓二郎	那 須 誠 一
島 井 貴 浩	親 川 佳 代	栗 山 剛	宮 園 幹 夫
黨 智	藤 嶋 晋太郎	馬 場 浩 喜	増 岡 慶 司
鱒 坂 正 秋	下 村 拓 史	篠 原 啓 祐	櫛 野 周 史
松 田 一 郎	羽 野 浩一郎	坪 田 一	宮 本 辰 則
ミラー 智 子	佐 藤 雄 飛	川 元 武 士	西 山 宗志郎
齊 藤 晃 夫	齊 藤 大 地	井 上 耕 治	稲 員 稔 夫

係 員

【第1試合場】	【第2試合場】	【第3試合場】	【第4試合場】
【中央区】	【早良区】	【西区】	【西区】
阿 口 小 春	山 下 忠 泰	緒 方 祥 子	濱 地 亮 子
永 野 文 恵	西 澤 順 子	甲 斐 ふみ子	徳 安 美 幸
宮 路 桐 華	古 相 純 子	都 原 美由紀	西 山 華
佐々木 みゆき	日名子 有 希	木 本 真 美	本 多 みどり
岸 綾 美	戸 次 美 幸	栗 駒 圭 一	徳 安 紀 子
【第5試合場】	【第6試合場】	【第7試合場】	【第8試合場】
【東区】	【博多区】	【南区】	【城南区】
佐々木 美 香	菊 川 理 江	石 橋 千 春	伊 崎 健一郎
松 岡 恵 子	大 浦 銘 文	春 日 すみの	野 田 彩 子
中 村 里 美	池 田 裕 一	岩 松 知代子	中 村 恒 平
西 尾 美 和	大 浦 理 恵	平 田 佳 栄	灘 崎 由 佳
進 美 穂	金 紅 花	鈴 木 友 紀	原 田 由 紀

令和6年度 第38回市民総合スポーツ大会
第40回 福岡市女子剣道交流大会
兼 令和6年度 全国健康福祉祭 剣道交流大会 予選会
実施要項

1. 趣 旨 女子剣道の交流を目的とし、地域各団体の今後の活動を活発にすると共に、女子剣士相互の友情を深め女子剣道の普及発展に寄与することを旨とする。
2. 主 催 福岡市・(公財)福岡市スポーツ協会
3. 主 管 市民総合スポーツ大会実行委員会・福岡市市民局スポーツ推進部スポーツ事業課・福岡市剣道連盟
4. 後 援 (公社)福岡県剣道連盟・西日本新聞社・テレビ西日本他
5. 期 日 令和6年4月14日(日)
【午前の部】(会場受付…午前 7時30分～ 開会式…午前 8時30分)
【午後の部】(会場受付…午後11時30分～ 開始式…午後12時30分予定)
6. 会 場 福岡市総合体育館(福岡市東区香椎照葉 TEL 092-410-0314)
7. 参 加 資 格 福岡市内の各道場、公民館、クラブ活動及び学校を単位とした責任ある団体に所属する「女子選手」を対象とします。大会出場の年齢は、学生については令和6年4月1日現在の新学年を基準とし、福岡市各支部在籍の60歳以上選手としますが、年齢は全国大会開催時60歳と基準とします。*予選大会時59歳、全国大会日時で60歳を迎えていれば今回の参加資格とします。
8. 競 技 種 目 【午前の部】
『団体戦』(1部門)
① 60歳以上の部(令和6年度 ねんりんピック予選会)
*第36回全国健康福祉祭とっとり大会：令和6年10月19日(土)～22日(火)
『個人戦』(6部門)
② 小学生1～2年の部 ③ 小学生3～4年の部 ④ 小学生5～6年の部
⑤ 一般30歳未満の部 ⑥ 一般30歳代の部 ⑦ 一般40歳以上の部
【午後の部】
『個人戦』(3部門)
⑧ 中学生1年の部 ⑨ 中学生2～3年の部 ⑩ 高校生の部
*女子の団体戦は実施しません。
9. チーム編成他 1. 同一団体(支部)から2チームまでの参加を認めます。
※①60歳以上の部 2. 60歳以上の部団体戦 1チーム選手5名。
(ねんりんピック 60歳以上の部は、1.監督1名、選手5名(この内70歳以上1名以上、65歳以上1名以上)、交代選手2名以内の合計8名以内。監督は選手を兼任できますが、その際は選手としても登録して下さい。
予選会) *年齢は全国大会開催時60歳と基準とします。
3. チームの選手は7段以下とし、交代を行っても、競技する5名のうち65歳以上が1名以上、70歳以上が1名以上含まれるものとします。
4. 選手のオーダー編成は、年齢の若い順とします。
5. 交代選手の起用については認めますが、交代した選手は再度出場することができません。この場合においても3.に従いオーダー編成を行って下さい。
6. 支部全体での編成を認めます。
10. 組 合 せ 組合せは、主催者で行います。

11. 試合・審判及び試合方法
- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、細則、並びに本大会試合要項により行い、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・試合方法で実施します。
- (2) 試合は、個人戦・団体戦共にトーナメント方式により行います。
- (3) 『個人戦』
- ・試合は3本勝負とし、試合時間は、②～④の部門は2分間、⑤～⑩の部門は3分間とします。試合時間内に勝負が決しない場合は延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとします。
 - ・延長戦に入ってから試合時間は、全部門2分ずつに区切って行い、3回の延長で勝敗が決しない場合は休息をとり、その後は状況に応じて休憩をとります。
 - ・個人戦の選手の欠場について、最初の試合開始前までに各試合場審判主任へ申し出て下さい。欠場の場合は不戦敗とします。個人戦の選手の変更は認めません。
- [個人戦選手の変更]
- (4) 『団体戦』※①60歳以上の部(ねんりんピック予選会)
- ・試合は3本勝負とし、試合時間は3分間とします。試合時間内に勝負が決しない場合は引き分けとします。
 - ・チームの勝敗は、勝者数によるものとします。勝者数が同数の場合は、勝本数によって決定します。なお、全て同数の場合は、最初に引き分けた組による代表戦を行います。
 - ・代表戦は1本勝負とし、試合時間は2分間とします。3回の延長で勝敗が決しない場合は休息をとり、その後は状況に応じて休憩をとります。
 - ・〈i〉選手のオーダーの変更は不可。
 - ・〈ii〉団体戦の選手の欠場について、最初の試合開始前までに各試合場審判主任へ申し出て下さい。欠場の場合はそのポジションを不戦敗とします。
 - ・〈iii〉参加申込後に団体戦の選手の変更が生じた場合、交代選手は当該参加団体に所属する者で、交代するポジションは試合当日変更のあったポジションとし、チーム最初の試合開始前までに各試合場審判主任へ申し出て下さい。これ以降の選手の変更は認めません。
- [団体戦選手の変更]
12. 表彰
- (1) 個人戦・団体戦の各部門、優勝、準優勝、3位2名には、それぞれ賞状と景品を授与します。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止策の一環として、表彰は各部門で決まり次第随時行います。
- (2) 参加者全員に参加賞を授与します。
13. 主催責任者 福岡市剣道連盟理事長 國友 秀三
14. 問い合わせ先 福岡市剣道連盟事務局長 湯口 博史(携帯 090-6298-9083)
15. その他
- (1) 参加申し込みの際、**学校と所属団体・教室との重複エントリーにご注意願います。**
- (2) 所属団体名と姓を明記した「名札」を付け、紅白の目印は各自持参して下さい。
- (3) 大会中の事故については、応急処置は主催側で行いますが、その後の治療等については各団体または個人で処置して下さい。なお、傷害保険等は各団体で加入して下さい。
- (4) 駐車場は施設駐車場をご利用下さい。(1台500円)
- (5) 指導者、引率者様へのお願い
- ・会場(試合場)に入館できるのは各団体4名(監督1名、引率者3名)までとします。
 - ※入館用の名札を受付時にお渡しします。必ず首から下げて入館してください。
 - ※その他、応援は観客席にてお願いします。
 - 申込後に事務局よりご登録頂いたメールアドレスに追加の連絡事項をお送り致します。予めご了承ください。
 - ・近年の大会で、会場内外でお子様による怪我や、公共物の破損等が多発しております。お子様(選手・選手以外)が会場内で事故や、器物破損などを起こさないように十分にご注意、ご指導をよろしくお願い申し上げます。また、万が一お怪我をされた場合は、一切責任を負えません。また、器物破損につきましては、修理をして頂きます。予めご了承ください。

試 合 順 序

	1 順目	2 順目	
午前の部			
1 試合場	60 歳以上団体戦 決勝は1・5 試合場どちらかで実施	一般の部 30 歳未満の部 決勝まで実施 一般の部 30 歳以上 40 歳未満の部 決勝まで実施	<p>■ 60 歳以上団体戦は、1 試合場もしくは 5 試合で決勝まで実施します。</p> <p>■ 一般の部 30 歳未満の部・30 歳以上 40 歳未満の部・40 歳以上の部は決勝まで実施します。</p> <p>■ 小学生 1～2 年生の部は決勝まで実施します。</p> <p>■ 上記以外のグループはグループ決勝まで実施してください。その後決勝トーナメントを実施致します。決勝トーナメント試合場は本部より指示致します。</p>
2 試合場	小学生 1～2 年生の部 決勝まで実施	小学生 5～6 年の部 B グループ	
3 試合場	小学生 3～4 年生の部 A グループ	小学生 5～6 年の部 C グループ	
4 試合場	小学生 3～4 年生の部 B グループ	小学生 5～6 年の部 D グループ	
5 試合場	60 歳以上団体戦 決勝は1・5 試合場どちらかで実施	一般の部 40 歳以上の部 決勝まで実施	
6 試合場	小学生 3～4 年生の部 C グループ	* 試合状況に応じて移動します。	
7 試合場	小学生 3～4 年生の部 D グループ		
8 試合場	小学生 5～6 年の部 A グループ		

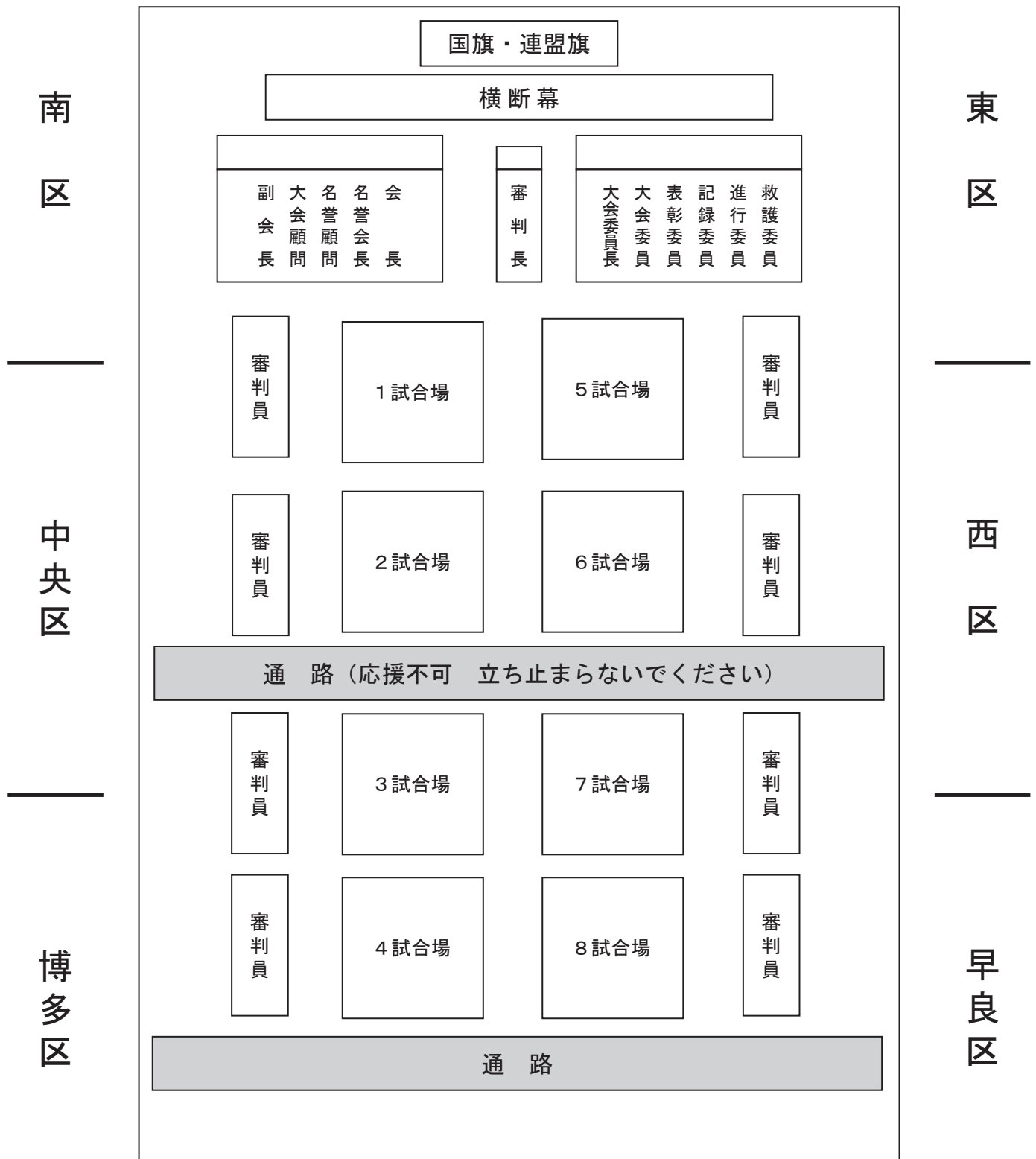
	1 順目	2 順目	3 順目
午後の部			
1 試合場	中学 2～3 年の部 A グループ	中学 2～3 年の部 G グループ	高校生の部 G グループ
2 試合場	中学 2～3 年の部 B グループ	中学 2～3 年の部 H グループ	高校生の部 H グループ
3 試合場	中学 2～3 年の部 C グループ	高校生の部 A グループ	* 試合状況に応じて移動します。
4 試合場	中学 2～3 年の部 D グループ	高校生の部 B グループ	
5 試合場	中学 2～3 年の部 E グループ	高校生の部 C グループ	
6 試合場	中学 2～3 年の部 F グループ	高校生の部 D グループ	
7 試合場	中学生 1 年の部 A グループ	高校生の部 E グループ	
8 試合場	中学生 1 年の部 B グループ	高校生の部 F グループ	

○ 試合順序は進行状況により変わることがあります。ご注意ください。

○ 決勝戦および決勝トーナメントの実施は、試合場の準備が出来次第、順次案内しますので、本部の指示にしたがってください。

大会会場案内図

本部後ろの観客席は使用不可 メインアリーナ本部後ろは通行不可



(観客席)

城南区

席は譲り合ってご利用ください。観客席最前列の立見は禁止します。

創志なま

心印しんいんからきれば創す又また心印しんいんす

創す志し業ごう人にんとと能よくすははる

先まずま心こころよりより学まなぶぶ

云い集じふ拾じふ白はく卷まき

島田虎之助